

赤城沢上流地点小水力発電所 事業性評価調査事業

1. 事業の目的

小規模発電所は出力あたりのコストが高くなる傾向に成る為、建設コストの低減化に繋がる、綿密な測量調査、基本設計を行い、その事業性が適正であることを確認するため、測量調査と基本設計を実施する。

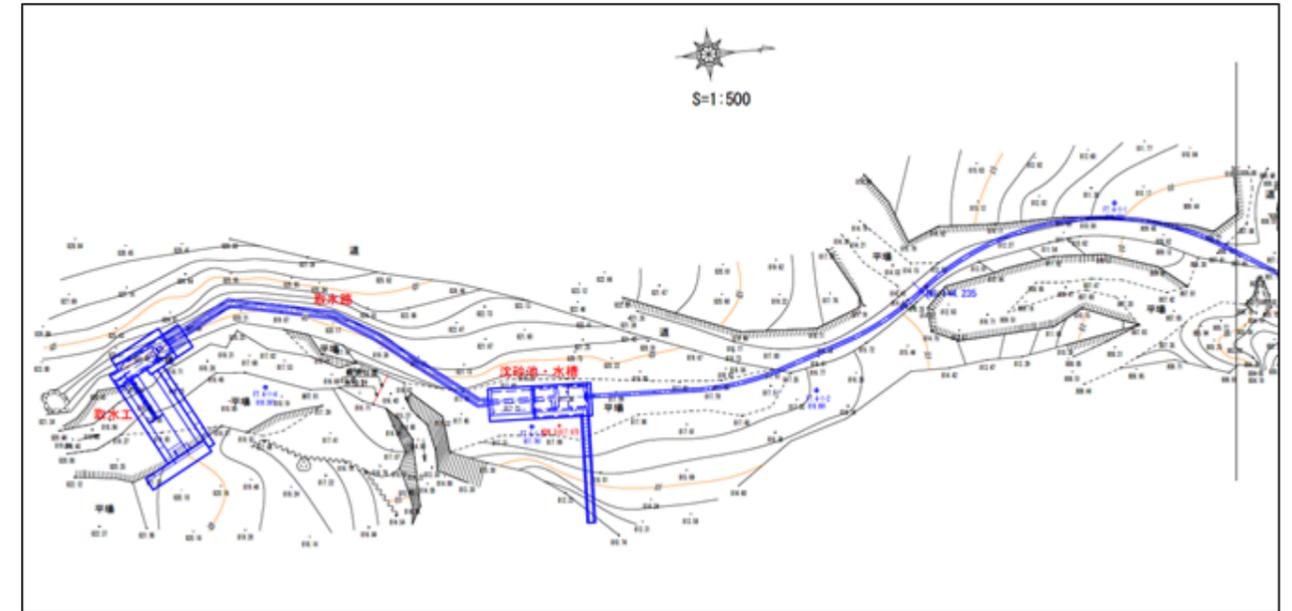
2. 事業の内容

- (1) 事業者名
株式会社 アドバンス
- (2) 事業名
赤城沢上流地点小水力発電所 事業性評価調査事業
- (3) 事業期間
令和2年10月27日 ~ 令和3年2月26日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
 - a. 発電形式 : 流れ込み・水圧管路式
 - b. 使用水量 : 0.272m³/s
 - c. 有効落差 : 89.93m
 - d. 出力 : 203 kW

3. 令和2年度の事業実施概要

- ① 地形測量
河川縦断、河川横断を含む導水管ルート及び取水口位置・発電所位置の地形測量を行なった。
- ② 基本設計
取水口、沈砂池、導水管、発電所のレイアウト決定、法規制のチェック。発電所諸元の決定、施工方法の考察・概略工事数量の算定を行なった。

4. 事業の成果等 発電所計画全体



- ① 地形測量調査に基づき基本設計を行った事により、施設規模が確定でき年間発電電力量、概略施設建設費及び概略施設維持費を知ることが出来た。
- ② 施設が占用する用地範囲が明確になり、今後の調整内容が明確になった。
- ③ 事業性評価により現状の基本設計での経済性が把握でき、今後更なる経済性を向上させるための問題点が明確に成った。

5. 事業スケジュール

調査項目	令和2年度(実績)												令和3年度(計画)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
流量調査	■																							
地形調査												■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
基本設計																								
事業性評価																								

【凡例】
 ■...実績
 ▨...計画
 ■...自主事業

2月20日完了
 概算工事数量にて事業性を評価

作業状況写真



現地測量状況

